

## 第 33 回 日本神経回路学会全国大会 (JNNS2023) 講演募集

### JNNS2023 Call for Papers

町田太郎 (PY)<sup>1)</sup>, 横浜花子<sup>2)</sup>

<sup>1)</sup> 玉川大学脳科学研究所

<sup>2)</sup> 玉川大学大学院脳科学研究科

E-mail:machida-taro@tamagawa.ac.jp

**Abstract**— The 31st Annual Conference of Japanese Neural Network Society (JNNS2023) will be held online as a virtual meeting in September 4–6, 2023.

**Keywords**— JNNS2023, Neural Network, Tamagawa University

#### 1 第 33 回 日本神経回路学会全国大会 (JNNS2023)

日本神経回路学会第 33 回全国大会 (JNNS2023) が 9 月 4 日 (月)–6 日 (水) に、東京大学 本郷キャンパス (詳細な場所は後日決定) で開催されます。詳細は大会ホームページ [1] をご覧下さい。

#### 2 論文投稿

JNNS2023 では、脳神経系に関わる生理学、心理学、脳イメージング、感覚・知覚・認識・運動、認知科学、人工知能、ロボティクス、数理モデル、学習理論、信号処理、データ計測・解析技術、機械学習、ハードウェア技術・ソフトウェア技術、高性能計算、アルゴリズムなど幅広い分野の研究発表を募集いたします。

##### 2.1 発表者の条件

- JNNS あるいは協賛学会の会員であること。海外からの参加者に限り、非会員であっても応募することができます。
- 発表者となるのは 1 人 1 件に限りますが、複数の発表にわたって共著者となることは可能です。

大学、研究機関にかぎらず、民間企業からのご参加も広く募集します。

##### 2.2 発表形式

一般講演は、ポスター発表と口頭発表の両方の形式で行います。使用言語は日本語または英語とします。使用言語は日本語または英語とします。詳細は大会ホームページの発表形式 [2] をご確認ください。

##### 2.3 投稿方法

大会ホームページ [3] をご確認ください。

- 口頭発表を希望する場合 150 words 程度での英語アブストラクトを提出してください。これに加えて、A4 版で 2 ページの英語または日本語の論文を提出してください。提出された論文をもとに査読を行い、優秀と認められた論文が口頭発表に割り当てられます。口頭発表に採択されなかった場合は、ポスター発表へ割り当てられます。

- ポスター発表を希望する場合 150 words 程度での英語アブストラクトを提出してください。任意で A4 版で 2 ページの英語または日本語の論文を提出することができます。

本大会のスコープに合致しない論文および研究倫理の点から発表にそぐわないと実行委員会が判断した論文は、採択しない場合があります。

#### 2.4 論文体裁

本募集要項が見本です。L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X 用のスタイルファイルまたはワードのテンプレートを大会ホームページからダウンロードして原稿を作成してください。

1 頁目の左右下各辺と 2 頁目の上下左右各辺は 20 mm の余白をとってください。1 頁目の上からタイトルを和文と英文で書いたあと、和文・英文いずれかで著者・所属・メールアドレスを書いてください。発表者名の右側には (P) または (PY)[35 才以下 (2023 年 9 月 6 日現在)] を添えてください。150 words 程度の英文 Abstract を本文の前につけてください。Abstract の後に、5 つ以内で英文キーワードを書いてください。本文は 10 ポイント以上の文字で、2 段組で書いてください。頁は記入しないでください [4, 5]。

#### 参考文献

- [1] <https://am2023.jnns.org/>
- [2] <https://am2023.jnns.org/presentation.html>
- [3] <https://am2023.jnns.org/submit.html>
- [4] 町田太郎, 横浜花子 (2023). JNNS2023 投稿方法, 雑誌名, 123, 456–789.
- [5] Nakano, T., Doi, T., Yoshimoto, J., & Doya, K. (2010). A kinetic model of dopamine and calcium dependent striatal synaptic plasticity. *PLoS Computational Biology*, 6, e1000670.

参考文献は上記のようにお書き下さい。